

## 令和5年度第3回多治見市生活支援体制整備推進会議議事録

日 時：令和6年1月22日（月）

10：00～11：28

場 所：多治見市役所 駅北庁舎4階第1・2会議室

- 出席：高木浩二会長、浅野みな子副会長、竹内寛委員、林計男委員、加藤六美委員、林正勝委員、若尾卓男委員、伴野義久委員、松村三千代委員、吉川幹委員、森内佐和子委員、高橋加代子委員、羽根田真理子委員、水野磨意子委員、松岡由佳子代理委員（村田志野委員の代理）、水野千鶴子委員、舩渡歎子委員、田中信次委員（順不同）
- 欠席：水野貫二委員、浅井朋子委員、吉井よしみ委員、大中博委員
- 事務局：前田高齢福祉課長、内山高齢者支援グループリーダー、藤井第2層生活支援コーディネーター、田立第2層生活支援コーディネーター、高齢福祉課水野

事務局

本日は、大変お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。  
開会に先立ちまして事務局からご連絡いたします。  
福祉部長は公務のため欠席しますので、ご了承願います。  
次に、配付資料の確認をいたします。  
座席表、委員名簿、次第、資料1、前回のグループ討議のまとめ、社会資源一覧表を各委員のお手元に、また、グループごとに「グループ討議 概要報告用紙」を机上に配付していますのでご確認ください。  
（足りない資料等あれば対応）  
なお、本日の会議は11時30分を目処に終了したいと考えておりますので、ご了承ください。  
事務局からの連絡は以上となります。

会 長

それでは、ただいまから令和5年度第3回生活支援体制整備推進会議を開会します。  
本日の会議は、多治見市情報公開条例に基づいて公開とさせていただきます。また、議事録につきましては、事務局で取りまとめの上、委員の皆様にご確認いただいてから、委員名を伏せてホームページで公開させていただきます。  
初めに、「社会資源一覧表の配付について」、第1層コーディネーターから説明願います。

コーディネーター

～第1層・第2層コーディネーター 資料説明～

会 長

「社会資源一覧表の配付について」、委員の皆様からご意見、ご質問はありませんか。

～意見なし～

会 長

次第2に入ります前にどうしても委員の皆さんに伝えたい、質問したいということがあれば、挙手願います。

～意見なし～

会 長

次に、次第2「地域課題に関する意見交換」を行います。  
事務局から説明願います。

事務局

今期の生活支援体制整備推進会議は、ボランティア活動等の「担い手の発掘」「参加に導くためのきっかけづくり」をメインのテーマとし、議論を進めていただきました。

その結果を「資料1 団体を維持・継続するためのヒント集」としてまとめました。

本日は、この資料1をさらに深めていただくために議論を進めていただきたいと思います。

特にお願いしたいのは、後半に討議していただく「(5) 集まった人たちとつながるために」という部分についてさらに深められたらと思います。

追加等を行う点について、意見交換をしていただきたいと思います。左端の番号を使って、例えば、1番の「集まる機会を多くする」の下に「参加しない方との話し合いの場をつくる」を追加するとか、独自の取組み、成功例、失敗例を含めて、具体的な提案をお願いしたいと思います。

次に、グループ討議については、前回と同様に、第2層のコーディネーターに進行役として入っていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

会 長

委員の皆さんいかがでしょうか。

事務局

それでは、各グループの進行役については、1グループは第1層コーディネーター、2グループは第2層コーディネーター、3グループは会長、4グループは第2層コーディネーターでお願いします。

発表者は、各グループで決定してください。

書記は、包括支援センターから選出の委員さんでお願いします。

書記の方は、発表される方が発表しやすいように、グループごとにお配りしました「グループ討議 概要報告用紙」をご記入ください。

概要報告用紙は、発表後に事務局へご提出していただき、会議録確認時や次回の会議時に印刷して皆さんに配付します。

司会者と発表者を決定いただいた後、前半30分で、1番から40番に関連すること、後半30分で41番から67番までに関連することについて討

議していただきたいと思います。

討議の後、11時15分くらいから1グループ3分をめぐりに討議内容を発表していただきます。

～質問なし～

会 長

それでは、私もグループ席へ移動させていただき、グループ討議の進行については事務局にお願いします。

事務局

まず、発表者を決定していただき、討議を進めてください。  
高齢福祉課長や事務局がグループを移動し、討議を聞かせていただきますので、ご了承願います。

～グループ討議～

事務局

それでは、時間となりましたので、会長・副会長は席へお戻りください。

会 長

それでは、1グループ3分ほどで発表していただきます。質問は全グループ発表後にお受けします。1グループから発表願います。

委 員

参加に導くためのきっかけづくり、魅力ある催物として脇之島地域では子どもたちの夏休みの作品の展示会に合わせて健康診断を開催されて、大勢の人が集まったという話がありました。興味のあることには人が集まるという一例です。

また、養正地域では地域福祉協議会の事業ではないですが、2区で鯿つかみを開催すると多くの人が集まります。それは、鯿がもらえるからです。また、2区の夏祭りでは回数券を出して、いろいろなおもちゃを出すのですが、品物がなくなるほど人が集まります。

接触するとよい団体・人については養正校区には6つの区がありますが、区長のOB会を開催しています。コロナ禍では開催していませんでしたが、今年4回目を開催し、20、30人ほどの区長経験者が集まりました。その中で、地域福祉協議会と青少年まちづくり市民会議の周知を図り、理解を得るようにしています。区長OBは大変理解がありますので、そのような人からボランティアを集めるのがよいではないかと思います。

会 長

次に、第2グループから発表願います。

委 員

特に男性の担い手の発掘が難しいため、困っていることや助けてほしいことを具体的に伝えて、きっかけをつくってあげた方が参加しやすいのではないかという話が出ました。また、人のたまり場のような場所が必要で

あること、そこに呼んで参加してもらうことが大事だということ、目的をつくってあげると参加しやすいのではないかという話をしました。

接触するとよい団体については自治会、つながるためには1回つながったときにそれを切らさないように、継続した発信や積極的な関わりにより興味を持ってもらうことが大事ではないかという話をしました。

会 長

次に、3グループから発表願います。

委 員

潜在的な担い手の発掘について、ボランティアを募集するのに広報紙を全戸配付していますが、なかなか広報紙を出しただけでは集まりません。最終的には、個人的なつながりでボランティアを広げていくしかないのかもしれませんが、それには長い年月がかかってしまいます。ごみ出しのボランティアは、車に乗って行って出さなければならない状況ですと、長続きしないので、なるべく近くの方にやってほしいと思いますが、ごみを出す人は、隣人や知り合いには見られたくないという意識があるようですので、今後どのように折り合いをつけるのかという問題があると思います。中学生ボランティアについては、中学生も勉強や部活動等で忙しく、活動できる時間に制約があるため難しいという話も出ました。

市之倉地域では、ごみ出しボランティアを募集しましたが、残念ながら1人も集まらないという悲しい現実を目の当たりにしました。町内会長が福祉委員をやっていますので、町内会長会議で申込用紙を配付して説明しましたが、一人も申し込みがありませんでした。ごみ出しは近くの人でないと活動を継続しにくいですので、町内会長の下の班長を毎年ボランティアにするような体制ができれば、理想に近いのではないかと考えています。これは、地域福祉協議会だけではできませんので、区などとタイアップしながらやっていくしかないと思います。

接触するとよい人として、市議会議員を有効に活用するとよいという話がありました。

会 長

次に、4グループから発表願います。

副会長

参加に導くためのきっかけづくりについて、ごみ出しについても、具体的に活動できる範囲を示したほうが良いという意見が出ました。家事支援であれば、この場所の掃除とか、この建物のガラス拭きなどと、内容的に得意不得意もありますので、具体的な活動内容を示したほうが分かりやすいという意見です。

どの団体でもチラシや広報を出しています。根本地域では「デジタルねもと」という、様々な情報を1まとめにしたサイトがあり、それを見ると地域のことがすべて分かるという取り組みですが、反応はまだまだです。もし、問合せが来たら、いろいろなことに一緒に参加してもらいたいです。

具体的な活動を示してフォローをしないと活動が続かないのではないかと  
いう意見も出されました。

70歳ぐらいまで仕事をした後でボランティア活動をするとなると、活動  
年数が短くなるため60代の人を引き込むための方策が大事だと考えます。  
チラシで募集するだけでなく、自分の趣味を生かした活動、例えば料理  
とか修理とか、具体的に示すことでボランティアが集まりやすくなるので  
はないかという意見が出ました。

会 長

質問等はありませんか。

～意見なし～

会 長

本日の議論を踏まえて「資料1 団体を維持・継続するためのヒント集」  
を事務局にて修正し、会議録の確認とともに委員の皆さんにお送りします。

本日の議題は以上となります。これをもちまして令和5年度第3回多治  
見市生活支援体制整備推進会議を終了いたします。